



コミュニティ・スクール特集



CS = (Community School)

Q “コミュニティ・スクール”とは？

A 学校と地域住民・保護者が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能になる「地域とともにある学校」『子どもと関わり、見守り、支え、応援していく、地域と連携した学校づくり』の仕組みです。
学校（先生方）と「めざす子ども像」を共有し、教育の当事者として、子どもたちの成長を見通し、学校運営に参画していくことを目的としています。

牧之原市の思い

市の地域の将来を考えたとき、最も大切なことは、**地域に根ざす子どもたちを育むことができるかどうかということ**、と捉えています。だからこそ、地域の自然に触れ、地域で様々な体験や地域で暮らす方々と触れ合うことで、この地域のよさを感じとり、**この地域で暮らそう、さらに地域に貢献できることは何か**を考える力も身につくはずです。このような力を、学校の先生方だけでなく、『子どもたちと地域をどうつなげていくか（地域愛を育むか）』を地域と学校が一緒になって考えていく場が設置への思いです。

コミュニティ・スクールの主なねらい

<学校運営>

学校の目標を共有し、目標に向かい学校を運営に協力

<学校支援>

地域の子どもはみんなで育てるという意識の醸成

<地域貢献>

故郷を大切にする気持ちの育成とコミュニティの活性化

つまり、

地域の**宝**である“子ども”を**学校・保護者・地域**とで、育てる。と同時に、**地域もますます元気になる！**

～コミュニティ・スクール設置までの流れ～

↓準備会の様子（菅山小）

R1年度	・モデル校3校が準備会立ち上げ（勝間田小、萩間小、相良中）
R2年度	・モデル校3校がコミュニティ・スクールを設置（勝間田小、萩間小、相良中） ・4校が準備会立ち上げ（地頭方小、川崎小、榛原中、牧之原小中）
R3年度	・R2年度4校がコミュニティ・スクールを設置（地頭方小、川崎小、榛原中、牧之原小中） ・4校が準備会を立ち上げ、本年度中にコミュニティ・スクールを設置予定（相良小、菅山小、細江小、坂部小）



全校設置予定！

いこっと開館のお知らせ



令和3年4月、図書交流館いこっとが開館しました。まるでホテルラウンジのような落ち着いた雰囲気「いこっと」には、飲み物を飲みながら交流ができる交流・談話エリアの他、児童エリアや学習室も備えられており、読書だけでなく、勉強をする場所としてもご利用いただけます。ぜひ皆さんご利用下さい！



「撮影：高橋菜生」

休館日

- ・毎週月曜日
- ・祝日の翌日（祝日が続く場合は祝日の翌日）
- ・館内整理日（第3金曜日）
- ・蔵書点検期間
- ・年末年始（12月28日～1月4日）

開館時間

- | | |
|--------|------------|
| ・火～金 | 午前10時～午後7時 |
| ・土・日・祝 | 午前10時～午後6時 |

※新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言の発令中は、**学習室**の利用はできません。

ウォーリーをさがせ！！

図書交流館いこっとでは、開館記念イベント「牧之原市立図書交流館いこっとでウォーリーをさがせ！」を開催中です。いこっとに隠れているウォーリーたちを見つけられたら、素敵なプレゼントがもらえます♪ぜひご参加下さい！

開催期間

7月1日（木）～8月31日（火）

参加方法

館内で配っている回答用紙に答えを書いて、カウンターで見せてください。

図書交流館いこっと

〒421-0523 波津3丁目11番地

ミルキーウェ이스クエア内

☎ 0548-23-7007

HP： <https://lib.city.makinohara.shizuoka.jp>



in 市史料館
2Fホール

English Camp

in Makinohara 2021

August 4-5, 2021

Purpose (目的)

子どもたちがALTのネイティブの英語や外国の文化に触れ、集中して英語を聞いたり、話したりする活動を通して英語でコミュニケーションをとる楽しさを体感し、もっと英語を学びたい・話したいという意欲を持つことができるようにすることが目的です。



Day 1 (1日目)

1日目は、4人のALTそれぞれの出身国の文化に触れ、遊びやゲームを体験しました。また、このキャンプのメインとなる『**外国の方々が喜ぶ牧之原市のツアープランを発表しよう**』に向けて、牧之原市の観光地やおすすめのレストラン、宿泊場所などをタブレットを用いて検索し、ピックアップしていきました。

Day 2 (2日目)

2日目は、発表に向けて、グループ内で発表内容を決め、誰がどんな内容を発表するか分担し、模造紙にまとめました。発表では、「サーフィンができる」、「お茶摘みが体験できる」または「子生まれ温泉に入れる」ことなどについて苦労して作文した英語で伝えました。

Presentation (発表)



子どもたちは、聞き慣れない言葉に触れながらも、グループの仲間と協力して表情や身振りなども意識しながら発表を行うことができました。

ファミサポ



～あなたもわたしも楽しく暮らせる「まきのほら」をめざして～
子育ての手助けが必要になった時のために、登録しませんか？

ファミリー・サポート・センター（通称ファミサポ）は、子育て中の家族が安心して働いたり育児したりすることができるよう、あらかじめ登録した地域の会員を支援するネットワークです。



どんな時に利用できるの？

- ・最近疲れ気味。リフレッシュする時間がほしい
- ・参観会に行きたいけど、下の子はまだ小さいから連れていけない
- ・忙しくて保育園や児童クラブ、習い事の送り迎えができないな...

<対象年齢>

- ・首がすわった、おおむね生後4ヵ月～小学校6年生

<内容>

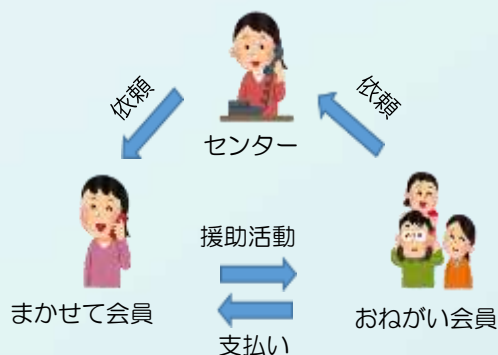
- ・子どもの預かりや送迎



<料金>

- ・600円～

※利用するには事前に登録が必要です。（登録無料）



その他、詳しい内容についてはお問い合わせください。

牧之原市ファミリー・サポート・センター：0548-23-0077

編集後記

以前、ランニングにはまっていることをお伝えしました。まだ今年の春浅い頃の話ですが、いつものランニングコースを走っていると突然、進行方向右側からカエルの合唱が聞こえてきました。さらに進むと道の左側からも。何ガエルだろうか？左右からの大合唱になってゆく。さらに、少し離れた右側からウグイスのささやきが彩りを添え、左側からは叫び声にも似たキジの鳴き声がして、さながらオーケストラの大演奏になってきました。なんとなく贅沢な気分になりながら、ふとこんなことを考えました。きっと、こういう音に触れる中で、ベートーベン『田園』を、ビバルディ『四季』を創り出したんだろーなーって。そして、牧之原市は都会に比べたら文化施設は乏しいかもしれないけれど、それを補ってあまりある文化要素に溢れてるってことを実感しました。

編集委員長 澤田衛

ご意見ご感想はこちらまでお寄せください。

教育委員会だより編集委員会 電話：53-2642 FAX：53-2657

編集・発行 牧之原市教育委員会／牧之原市菊川市学校組合教育委員会